

黄島

岩壁と大きな溶岩トンネル

福江島の東に浮かぶ三島のうち、最も南にある黄島には、五島列島最大級の溶岩トンネルがあります。人口の少ない島の南側にあるこの溶岩トンネルは、地下約 130 メートルまで延びています。トンネル内部の壁面は明るく輝く黄鉄鉱の結晶で覆われており、上部には無数の火山性鍾乳石が形成されています。この溶岩トンネルの中で発見された生き物たちは、現在大学の研究者たちによって研究されており、研究者たちはこれらの生き物の一部が黄島の固有種かもしれないと考えています。黄島にあるもうひとつの特徴的な地形は細ヶ岳です。細ヶ岳は島の西側にある高さ 25 メートルの円形の隆起で、長崎県公式の最低峰です。

火山岩は五島列島全域で住居を囲む塀の建設に利用されており、これは黄島でも同様です。今日、黄島には 50 人の島民が住んでおり、郵便局、そして仏像が並ぶ庭園と大きな墓地が併設された寺があります。島では宿泊施設が利用できます。